

「北東アジアクルーズの振興」行動計画の提案

日本、中国、韓国は2004年から2006年に行った共同研究により、北東アジア地域のクルーズの潜在能力の高さについて共通の認識を持った。この共通理解から、北東アジア地域を世界に通用するクルーズの寄港地、目的地として宣伝し、3国が連携して「北東アジア地域のクルーズの振興」に関連する機関と協力することを提案した。提案された行動計画は以下のとおり。

(1) 1年目

- ・「北東アジアクルーズ協議会（仮称）」設立に向けた準備
「北東アジアクルーズの振興」を目的に、日中韓3国で連携を図るための協議会設立に向け、試験的体制を構築する。
- ・船社向け情報発信
船社向けにクルーズの日中韓三国の港湾を紹介するパンフレットを作成し、情報発信する。パンフレットには港湾の周辺観光資源、アクセス、ターミナルの施設規模、ポートチャージ、港湾管理者の連絡先等を掲載するとともに、港湾の写真等を掲載する。

(2) 2年目

- ・観光、海事、航空関係者との連携拡大
- ・「北東アジアクルーズ協議会（仮称）」の組織化
「北東アジアクルーズの振興」を目的に日中韓3国での連携を図るための協議会を組織する。
- ・各港の紹介資料をホームページへ掲載

(3) 3年目

- ・クルーズシンポジウムの共同開催
- ・ポータルサイト立ち上げ（予約窓口のワンストップ化）